

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第76回放送の概要 (2014年2月22日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なか (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

かりん (妹尾優香)
アコ (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
いっちゃん (一ノ瀬悟)

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 安心・信頼・確実を会社のモットーとして、給油、洗車、車検、整備など、マイカー、社用車の安全に、資格を持った整備士が目目を光らせております。また車のリース、新車・中古車の販売、生保、クレジット等も取り扱い、車両全てのオーソリティとして、お客様に多大なる信用を得ております。本日は、神戸・明石で十数店舗のガソリンスタンドを展開している、三和油業(株)様、電話078-923-0013の御協力をいただきました。

(CM) 神戸で乗って一番楽しいタクシーそれはペリーヌタクシーです。優しさで安全・安心を乗せて走ります。観光・ゼミ・研修・福祉輸送等乗れば心温まり、思わず笑みが浮かぶ、心を結び、出会いを作るタクシーです。本日は誇りと信頼の良質なサービスを提供するペリーヌタクシー様(電話078-521-0046)の御協力を頂きました。

1. ゲストコーナー(1): 兵庫高校 大澤哲先生、総合科学類型 1年生 寺内翔子さん、柏本ゆかりさん、東畑圭祐さん、鈴木祥吾さん、津村祐希さん、

兵庫高校総合科学類型の生徒さんには、これまでに6回出演頂いています。大澤先生より改めて総合科学類型について伺いました。

総合科学類型には2つの目標がある。1つは、色んな世代の人とコミュニケーションをとりながら、社会を作っていく人になってほしい事、2つ目は自分達で主体的にやっていくこと、そして将来日本、世界を引っ張っていけるトップリーダーになることを目指している。

次に5人の生徒さんより、名前、出身中学、クラブ活動、研究テーマについて伺いました。

・寺内翔子さんは、夢野中学出身、剣道部、研究テーマは多文化共生と異文化交流、鉄人化まつりの実行委員長もしている。

・柏本ゆかりさんは、有野中学出身、硬式テニス部、研究テーマは多文化共生と異文化交流。

・東畑圭祐さんは、山田中学出身、4月からギターアンサンブル部、11月から剣道部、研究テーマは多文化共生と異文化交流、理系のテーマとして昆虫の研究をしている。この研究は種の同定のため、系統樹を作成している。同定は、名前のわからない虫を図鑑を使い名前を探し、その後、何種類かの虫を解剖し、触角の特徴などを調べ、違いを様々な部位から見つけ、進化の過程を表す系統樹を作成する研

究をしている。

・鈴木祥吾さんは、星和台中学出身、野球部、研究テーマは、新長田周辺のマップ作成で、新長田周辺は高校生があまりいないので、高校生を呼びこんで地域の活性化を図ろうとするものです。高校生向けの店は鉄人前の通りに限定されるので、周辺地域を調べ何らかの工夫をしていきたい。

・津村祐希さんは、唐櫃中学出身、機械体操部、研究テーマは長田神社及び神社前商店街を活性化しようというもの。兵庫の生徒は長田区以外が多いため、長田神社周辺に行くことは少なく、商店街の人も高校生が来ることは少ないと話していた。高校生を呼ぶために、行きたい店について生徒にアンケートし、その中からお菓子屋、パン屋、スポーツ店などを中心に取材し、5つの店を紹介すると共に、長田神社に係るエイや櫛のエピソードを集め、マップを作製した。現状は作成したマップを生徒に配布し、アンケートを求めているところ。今後アンケートに基づき修正し、高校生鉄人化まつりで披露したい。エイについては、昔、川が増水した時、海からエイが上がってきて、境内のご神木の櫛の木あたりに消えたという言い伝えがあり、その後絵馬はエイの描かれたものになった。



研究テーマ「多文化共生と異文化交流」について：

取り組んだ理由は、北区から通学している人が多く、長田区役所から外国人が多いという話を聞き、興味を覚え、多文化共生が出来る町にしたいと思い活動を始めた。色々な所を訪問するフィールドワークでは、FMわいわい、ベトナム夢KOBÉなどを訪問し、基礎知識を学んだ。長田に外国人が増えてきた歴史については、長田はゴム産業の町であったので、作業が言葉が充分通じなくても出来る事から増えてきたということであった。また甲南大学、こども多文化共生センター、JICA、国際化センターなどで色々な講演会に参加した。外国人の立場から、多文化共生の実情について話を聞くこともあった。田村太郎さんの講演会では、多文化共生は重いものと思っていたが、海外生活の豊富な体験を聞き、写真など明るく活動している様子から海外に行ってみたいと思い、人と繋がるのは簡単ではないかと思った。

なかちゃんの話：20年以上前から在日の外国人の方は、異人ではない、同じ県民、市民であるという親近間で理解をしようという動きに変わってきた。異文化共生、多文化共生、異文化交流となってきた。兵庫県は外国人県民という言い方をするようになった。

座学の他には、深江多文化フェスティバルにボランティアとして参加した。イベントの一つであるブラジルのサンバを見て、外国文化の楽しさを知り、とっつきやすいと感じた。色々な活動を通じて、多文化共生とは、「国籍や言語に関係なく繋がりを持てること」という結論に達した。深江多文化フェスティバルで感じたが、繋がりを持つには、外国人の人と同じ場所で同じイベントをして、コミュニケーションをとることだと思った。2月2日にワンワールドフェスティバルで、取り組みについての発表を

した。ワンワールドフェスティバルは、国際協力、国際交流に関わる機関が集まり、多くの人が様々な文化に触れ、国際協力の大切さを認識してもらい、ボランティア活動に参加する機会を提供することを目的に行われている。このフェスティバルで発表することになったのは、大前先生から活動の発表場所として参加するよう話があったから。柏本さん、東畑さんがパワーポイントで発表し、寺内さんはパネルディスカッションに参加した。参加したのは寺内さんともう一人の高校生、兵庫多文化共生センターの北村さん、こども多文化共生センターの4人で話をした。テーマは多文化共生には何が大切かで、まつりなどの楽しいイベントを通じて、多文化共生を図ることが大切と話したが、それは簡単ではない、北村さんからは、多文化共生にはぶつかり合う事も大切と発言された事が心に残った。

パネルディスカッションの経験は、学校内では鈴木さんがリーダーとは何かと言うテーマで参加した事があり、大学の先生の話を読まえ質疑を行った。リーダーとして大切な事は、間違いを批判できる力という主張をした。

2. ミュージックコーナ:

NHK『プロジェクト X〜挑戦者たち〜』というドキュメンタリー番組の主題歌は地上の星ですが、エンディングテーマの曲がヘッドライトテールライトです。番組の主要な視聴者である中高年を中心に、幅広い支持を得た番組、曲です。

3. ゲストコーナ(2)

高校生鉄人化まつりが始まったのは、総合科学類型1期生の企画提案が、鉄人まちづくりイベントの最優秀賞に輝き、長田区役所や他校高校生の協力を得て具体化されたものです。今年の第4回高校生鉄人化まつりは、長田区の全ての高校(通信制を除く)が参加し、3月29日(土)、10時~17時に、鉄人広場で開催されます。実行委員会は兵庫、野田、育英と区役所で構成し、今年1月から活動している。

今年のまつりの特徴は、「融合」「伝統」「多文化共生」というテーマを設け、「友と共に光を灯そう」というスローガンを決めたことです。「融合」は多くの高校生がまつりに参加し協力していること、長田区の学校は長い「伝統」を持っているので生かすことを考えたい、「多文化共生」は融合から派生したもので、長田の特色としてまつりに組み込めたらと考えたものである。「伝統」では各校の制服を披露する事を考えている。

イベントの特徴は、舞台についてはこれまで部活有志が出演していたが、今年は男女別の早食い大会及び、制服ファッションショーと特技披露によりミスター・ミス長田のコンテストなども企画している。審査員は区役所、鉄人化プロジェクト、区民により行う事を考えている。他の出し物は、吹奏楽(兵庫)、ダンス(兵庫、長田)、ギターアンサンブル(兵庫、夢野台)、書道(兵庫)、コーラス(夢野台、長田)、能楽(湊川)、エイサー(長田商業)、漫画(野田)などである。部活では他校の生徒に会うことはあるが、しゃべったりすることはないので、まつりを通じて他校生徒と友達になり、まつりを作り上げていくことはとてもいいことだと思っている。

寺内さんは、総合科学類型での1年弱の活動を通じ、中学校ではボランティアをした事がなかったが、ボランティアに参加する機会が増え、色んな人に感謝され、深江多文化フェスティバルでは外国人と友達になり、楽しめたし、祭と一緒に作ることで、自分自身が地域に役立つ力がある事を発見することが出来た。

津村さんは、唐櫃台に住んでいるので、小学校、中学校が1校ずつしかないことから、地域の繋がりが強く、吹奏楽などは高校生と中学生と一緒に演奏したりしている。また、唐櫃の子どもたちの芸術祭もあり、地域交流がすごいところである。長田区には高校は多いがそのような交流はないので、長田にも増やせたらと思っていた。高校生鉄人化まつりは、長田区内の高校生と一緒に活動出来る場所になっているのがよいと思う。

鈴木さんは、ボランティアがしたいと思い総合科学類型に入ったが、神戸大学で体験した模擬安全保

障理事会の活動など、類型にいと色々な活動が体験できる良さがある。

大澤先生としては、総合科学類型の目指す、コミュニケーションと主体性という2つのテーマについて、生徒たちが放送の中で発言出来ていたことが成果と考えている事、来年度からは未来創造コースという名前で進めていくことになり、4月よりコースの1期生が入ってくるので、より発展した内容に進化していくことになる。従って今後更に長田の街の方々、子供達、神戸大学院生、多くの方々にお力添えをいただき、益々主体的に、コミュニケーションをとって世界でリーダーシップをとって活躍する人材が育ってほしいと思っている。

4. すべった話すべらない話：今年度の「ぼうさい甲子園」受賞校の取組み

- (1) 1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」は、阪神淡路大震災の経験を通して学んだ自然の脅威や生命の尊さ、共に生きることの大切さを考える防災教育を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくるため、子どもや学生が学校や地域において主体的に取り組む防災活動を選考し、表彰しています。今年度の応募数は、115校でした。
- (2) 特に今年度も、昨年度に引き続き津波避難訓練や津波対策の取組みを大正とした「津波ぼうさい賞」、理科や社会科等の教科教育における防災教育の取組みを対象とした「教科アイデア賞」、数年に渡り継続的に優れた取組みをしている学校を対象とした「継続こそ力賞」に加えて、過去に応募がなかった地域での先導的な取組みを対象とした「フロンティア賞」も選ばれました。
- (3) 受賞団体を紹介します。
 - ①ぼうさい大賞グラフィ：宮城県女川町立女川中学校で、千年後の津波災害から命を守る津波対策、町内21地区の津波到達地点に「いのちの石碑」を建造しようと、現在も募金活動を進めている。
 - ②ぼうさい大賞：コドモ防災クラブを結成し、救急救命ケースや防災無線の使い方を学び、防災マップ作成に取り組んだ新潟県糸魚川市立根知小学校。特別支援学校の生徒たちが自主的な避難行動を取り入れた防災体操を製作した千葉県立東金特別支援学校。南海トラフ巨大地震に備えた地元でのフィールドワークによる地域住民対策を進めた高知県立大学イケあい地域災害学生ボランティアセンター。
- (4) 優秀賞：災害時要援護者を記入した防災避難マップや防災啓発劇の徳島県小松島市立坂野小学校。瀬戸達による戸別訪問による防災意識調査などの徳島市立津田中学校。市内9地区の津波模型や津波ハザードマップ制作啓蒙の岩手県立宮古工業高校機械科津波模型班。福祉と連携した避難経路など地域防災セミナーや交流会の愛知県地域貢献団体MMM。
- (5) 奨励賞：孤立集落での土砂災害対策として防災マップ、シカ肉非常食づくりなどの高知県四万十川町立十川小学校。学校近隣地区の避難経路・危険箇所・海拔等の調査と海拔表示板の設置と仮設住宅住民との合同防災訓練の宮城県気仙沼市立階上中学校。聴覚障害者等の防災学習の山口県の高校生たち、水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊。災害時に配慮が必要な住民をサポートする「大宮ほっとかへん運動」の京都府の佛教大学大宮防災と福祉のまちづくり応援隊。
- (6) 部門賞以外の賞で、
 - ①はばタン賞：阪神淡路大震災以降の被害の大きな被災地にエールを送るため、これら地域を対象に被災の経験と教訓から生れた活動に授与されます。岩手県大船渡市立吉浜中学校吉浜げんき隊など3つの小中学校に。
 - ②だいじょうぶ賞：防犯や街の身近な安全にも活用できる活動に対し、香川県の高松市立太田南小学校地域安全チーム「STみなみ」。
 - ③津波ぼうさい賞：津波避難訓練や津波対策に対する優れた取組みの、高知県立須崎高校など5つの小中高校へ。
 - ④教科アイデア賞：教科教育において優れた防災教育の取組み、岐阜県の御（みかさ）町立上之郷小学校など3小高校。
 - ⑤継続こそ力賞：過去数年に渡り優れた取組みの、兵庫県のアトリエ太陽の子など、3団体。

⑥フロンティ賞：過去に応募がなかった地域での先導的な取り組みの、大阪市立南港南中学校など3中高校へ。

以上、今年度は合計30の学校・団体が表彰されました。

5. 地域瓦版

第3回東北復興支援イベント「LOVE フェス3.11」が3月8（土）、9日（日）に、若松公園、鉄人広場、南地区商店街で開催されます。テーマは「神戸から東北へ笑顔のかけ橋を」です。

第4回高校生鉄人化まつりが、3月29日（土）、10時～17時に、鉄人広場で開催されます。

第3回 東北復興支援イベント LOVE フェス3.11
Link of vital earth 3.11 FES

2014 3/8(土) 3/9(日) 若松公園・新長田駅前鉄人広場
JR 新長田駅前南地区商店街一部(開催予定会場)

LOVE フェスとは…
2011年3月11日、未曾有の被害をもたらした、東日本大震災。震災を通じて「東北のために何かしたい!」という思いを持った仲間が集まり、2012年3月11日に第1回東北復興支援イベント「LOVE フェス3.11」を開催しました。このイベントを通じて神戸から東北へ笑顔のかけ橋を。をテーマに、3月11日の出来事を風化させなく東北に勇気や希望、笑顔を届けるために、毎年「LOVE フェス3.11」を開催しつづけていきます。

神戸から東北へ笑顔の架け橋を

★ f-m-GIG 公開収録!
★ 福興カフェ 特別開催!
★ 東北、神戸の被災者「語りへ」講演
★ ゆるキャラショー ★ 宇賀ハルル展
★ キャンドルナイト ★ 屋台村 ★ 大道芸
★ 東北物産展
★ 活動団体紹介

今年もLOVEフェス3.11の会場である募金、協賛金から運営費用を差し引いた余剰資金は、あしなが英会さまの「あしなが東北レインボーハウス建設募金」と、神戸ともしびプロジェクトさまへ寄付いたします。
※神戸ともしびプロジェクト <http://www.kobe-tomoshiba.com/>

注 第1回LOVEフェス3.11実行委員会
事務局：大阪市中央区南船場4-10-20 GRANDMAISON102号 e-Room内 TEL: 06-4963-5820 FAX: 06-4963-5821
【後援】神戸市・兵庫県・神戸市教育委員会・兵庫県教育委員会(予定)
【協力】フリーマージン支援「f-m-GIG-KOBE」株式会社
【特別協力】(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー

第4回 高校生 鉄人化まつり

友と共に 光を灯そう!

長田区の高校が一同に大集結する年に一度のビッグな祭典!
日頃の部活動の成果を発表する元気いっぱいの子と、原チアース
グループ産物も登場し、おまつりムードも最高潮!
さあ長田区の高校OB・OGも鉄人広場に大集合!

2014年3月29日(土) 11:00~17:00
会場:鉄人広場(新長田・若松公園) (雨天時:六園道五丁目商店街)

企画制作:高校生鉄人化まつり実行委員会 主催:KOBE鉄人PROJECT 協力:長田区役所
協賛校:神戸国際女子高等学校、神戸新田高等学校、神戸中央工業高等学校、長田高等学校、長田東高等学校、聖カタリナ高等学校、育英高等学校、兵庫県立中央高等学校、長田高等学校(協賛校)

6. 来月のゲスト

来月3月22日のゲストは、長年、貸衣装店を経営されている、池田裕子さんにお越し頂きます。

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>